

代表質問から

主な質問とこれに対する知事や関係部局の答弁の趣旨は次のとおりです。

答 知事の答弁 答 関係部局の答弁

新たな武道館を核に未来型スポーツ環境の創造を



かみひろゆき 嘉見博之 (徳島県議会自由民主党)

問 新たな武道館は、徳島東工業高校跡地を候補に、Bリーグの本拠地ともなるアリーナ機能を備えるよう検討し、それを核とした未来型スポーツ環境を創造すべき。

答 徳島東工業高校跡地のうち県有地部分を候補に、大道場いわゆるアリーナを有する新たな武道館整備を視野に入れ、庁内プロジェクトチームで検討を進める。

問 ウクライナ危機の影響を乗り越えて営農継続につなげるため、米価低迷対策と肥料価格高騰対策を同時一体的に講じる徳島ならではの大胆な施策を早急に打ち出すべき。

答 国の制度化を待つことなく、肥料高騰による農家負担増加分の2分の1を支援するとともに、高品質な県産米粉の生産拠点の整備を緊急的に支援する。

問 県南地域の住民は一日千秋の思いで高規格道路の開通を待ち望んでいる。徳島南部自動車道及び阿南安芸自動車道「桑野・福井道路」の整備における取り組み状況は。

答 県内2カ所目となる、地域活性化インターチェンジを活用した立江榑淵・阿南間の先行供用に取り組み、福井道路初の工事となる新野トンネルなどに着手する。

医療分野におけるデジタル技術のさらなる活用を



もときあきお 元木章生 (徳島県議会自由民主党)

問 地方における診療科の偏在や専門医の不足など、医療現場の様々なニーズに対応するために、医療分野におけるデジタル技術のさらなる活用を進めるべきではないか。

答 ローカール5Gを活用した救命救急の機能強化や、救急車から患者データを医師と共有するための先進的プロジェクトに挑戦するなど、徳島発の医療DXを推進する。

問 県立病院が、将来にわたっての役割を十分に果たすことができるよう、持続可能な医療提供体制の確保に向けて、どのように取り組むのか。

答 中央病院ER棟の運用やDXの活用、タスクシフティングによる医師の負担軽減等の取り組みを盛り込む新たな経営強化計画を年度内に策定し、着実に実行・推進する。

問 安心して教育を受けられる環境づくりや個々の状況に応じた支援のため、市町村教育委員会やフリースクールなどと連携し、きめ細かな不登校対策を講じていくべき。

答 セルフケア動画の作成・配信等に加え、不登校児童生徒支援協議会(仮称)を設置。適応指導教室の機能強化などについて協議し、多様で適切な教育機会の確保に取り組む。

まずは教育からジェンダー平等の取り組み推進を



とうじょうきょうこ 東条恭子 (新しい県政を創る会)

問 男女混合名簿や制服選択の導入、校則など性別で分けない教育環境の整備が求められている。一人一人の人格が尊重される教育の推進にどう取り組むのか。

答 児童生徒や保護者との合意形成を図りながら、柔軟に対応。また、いのちの安全教育の取り組みを進めるとともに今年度新たに性の多様性についての動画を作成し活用する。

問 市町村に配分される特別交付税について、算定根拠を完全に公開している県もある。県民に対し不信感をあおることは避け、算定根拠を公開すべきと考えるがどうか。

答 この度、3町から算定根拠の開示を求める文書の送付があり、回答文書を郵送したところ。今後とも、特別交付税の総額の確保と適切な算定に努める。

問 プラスチックごみをはじめとする海洋ごみは世界的な課題。その解決のためには、まず子どもたちからの環境教育が重要と考えるが、県としてどのように取り組むのか。

答 小中学生向けの海洋ごみ問題の学習動画等を制作し、授業や出前講座で活用。身近な人と清掃活動に参加できる環境を整備し、環境保全活動の担い手づくりへとつなげる。

一般質問から

主な質問とこれに対する知事や関係部局の答弁の趣旨は次のとおりです。

答 知事の答弁 答 関係部局の答弁

徳島小松島津田地区活性化整備事業の現状と今後は



きたひろし 喜多宏忠 (徳島県議会自由民主党)

問 徳島JCT・徳島沖洲間が供用されたが、徳島小松島津田地区活性化整備事業の進捗状況や分譲状況、津田地区のさらなる活性化の推進に向けた今後の取り組みは。

答 造成した企業用地は9割以上の売却めどが立ち、関心も高い。第2水面貯木場埋立てに向け、今年度内に港湾計画を変更し、公有水面埋立免許申請の手続きに着手する。

問 徳島大学を中心に産学官が一体となり本県光関連産業の振興と若者の雇用創出を図る地方大学・地域産業創生事業について、これまでの成果と、今後の見通しは。

答 次世代光を活用した殺菌システム等の研究開発、また、制度初となる大学理工学部の定員増を実現。さらなる高度化、具体化により実感できる成果を早期に創出する。

問 だまされない消費者、また、人や社会、地球などに配慮した消費行動ができる自立した消費者を育成するため、全世代への消費者教育を積極的に推進すべきではないか。

答 SDGs実現に向けた消費生活シミュレーション教材作成や、金融に関する知識と判断力向上に向けた阿波銀行との連携協定による講師派遣などを通じ消費者教育を推進。

三好寮増設を機に三好市のにぎわいづくり創出を



いのしたひろのり 井下泰憲 (徳島県議会自由民主党)

問 県立高等学校総合寄宿舎三好寮増設について、どのように整備しようとしているのか。また、増設を契機として、三好市のにぎわいづくりにつなげていくべきではないか。

答 1階に三好市の交流施設、上階に寮を配置し、生徒と地域住民共通の池高開放講座を開催するなど、寮そのものを地域活性化の処方箋とする新たな発想で増設を進める。

問 南海トラフ巨大地震や中央構造線活断層地震を見据え、誰一人取り残さない震災対策に向けて、今年度の県総合防災訓練にどのように取り組むのか。

答 民間事業者や自主防災組織等と連携した孤立集落への物資輸送や個々の被災状況に応じた、早期の生活再建を支援する、災害ケースマネジメント等の訓練を実施する。

問 中核病院では、紹介状なしの受診で徴収される選定療養費が増額改定となる。県立三好病院における負担軽減策として、子育て中の低所得者世帯等への対応策はあるのか。

答 県西部の特殊性に鑑み、本県独自のモデルケースとして、当面、三好病院夜間小児救急を受診する住民税非課税世帯を対象とした、新たな助成制度の創設に向け調整する。

閉塞感が漂う時こそ、人々を笑顔にする阿波おどりを



たてかわのりひろ 立川了大 (徳島県議会自由民主党)

問 新型コロナウイルス感染症や世界情勢で閉塞感が漂う時こそ、人々を笑顔にする阿波おどりが必要。県が開催する秋の阿波おどりにどう取り組んでいくのか。

答 有名連による阿波おどり大絵巻や技を競い合う世界阿波おどりコンテストなど、創意工夫を凝らした多彩なプログラムにより、心も躍る夢舞台となるよう取り組む。

問 元気な子どもに育つためには、歯の健康が不可欠であり、歯科疾患予防が重要。子どもの歯科疾患予防対策として、学校での集団フッ化物洗口を推進すべき。

答 令和元年度から小学校の児童を対象にフッ化物洗口を実施。今年度は中学校生徒を対象に加え実施予定。また、県歯科医師会と連携し、幅広い視点から取り組みを進める。

問 少子化の進行や地域的な保育需要の違いなど、保育を取り巻く環境の変化を踏まえ、さらなる待機児童対策に、県として今後どのように取り組んでいくのか。

答 市町村の子ども・子育て支援計画の見直しにあたり、状況の把握・分析を行い、的確な助言を行うとともに、保育人材の確保やスキルアップに取り組む。

普及啓発活動を実施する。

【問】 食料の多くを輸入に依存している我が国は、食品ロスの削減に真摯に取り組むべき。食べ物を無駄にしない意識の醸成とその定着に、今後、どのように取り組むのか。

【答】 食品ロス削減推進月間では、家庭での食品ロス削減に重点を置いたキャンペーンを実施する。また、食品ロス削減推進サポーターを中心に、

【問】 新たに発生する感染症への脅威に立ち向かうため、県民へワンヘルスの理念を広く浸透させることが非常に重要であるが、どのように取り組んでいくのか。

【答】 医師、獣医師、環境分野の関係者と連携し、分かりやすく情報を発信するとともに、環境教育の場において啓発するなど、広く県民に向けて普及展開し、浸透を図る。

【問】 県産材利用の意義や効果を広くPRする鍵を握るのは木育。ウッドショックを機に県産材利用拡大に向け、徳島ならではの木育の展開加速を図るべきではないか。

【答】 伐採や木作業の臨場感ある動画を積極的に用いたとくしま木育ガイドブックを製作する。また、移動木のおもちゃ美術館を新たに開催し、木育効果を全県的に展開する。

新たな感染症対策とされるワンヘルスの浸透を



しょうの まさひこ 庄野昌彦 (新風とくしま)

【問】 食料安全保障の観点から、国の農政では食料の海外依存から国内増産へ大転換を図るべき。県はそのための県内農業の振興策をどう考えているのか。

【答】 県産農産物の増産・拡大対策として大規模園芸施設の整備や担い手対策として人材育成等に取り組む。また、米価低迷と肥料高騰についても同時的な対策を実施する。

【問】 県民の安全安心のためにも、安売りの危険性とともに欠陥機との懸念も根強いオスプレイの徳島空港への飛行訓練の中止を要請すべきではないか。

【答】 オスプレイの運用は国が責任を持って判断したもの。県では、最大限安全に配慮し、不測の事態発生時は速やかに県と情報共有し対応を協議することを国に強く申し入れた。

【問】 職員の心身の健康の保持・増進は重要な緊急課題。知事部局の職員で精神疾患の罹患が増えているのはなぜか。また、どのようにして健康に働ける職場にしていけるのか。

【答】 ストレスの増大、新型コロナや大規模災害への対応などが影響。ストレスチェックの活用、相談体制の拡充等により、心身ともに健康で働きやすい環境づくりに努める。



たつた よしこ 達田良子 (日本共産党)

日本の食料自給率を上げるため、県はその先頭に立つべき

常任委員会

6月定例会委員会の概要

特別委員会

●総務委員会

公安委員会関係ではサイバー犯罪対策について、未来創生文化関係では徳島文化芸術ホール（仮称）の整備及び遺構の保存について、経営戦略部・監察局関係では職員の長時間勤務への対応、県庁舎における新電力による電力調達について、政策創造部関係では大阪・関西万博、徳島大学の定員増に関する本県の取り組み等についてなど、それぞれ質疑や提言がありました。

●文教厚生委員会

保健福祉部・病院局関係では新型コロナワクチン接種の効果や県民への情報提供、医療機関におけるセキュリティ対策、小児の原因不明の急性肝炎について、教育委員会関係では公立高等学校の特色化・魅力化に向けた検討状況、新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖の基準、教員の弾力的配置についてなど、それぞれ質疑や提言がありました。

●経済委員会

労働委員会関係では不当労働行為事件について、商工労働観光部関係では、とくしまグルメプレミアムクーポン事業における飲食店の取り扱い、四国のみちを活用した観光施策について、農林水産部関係では営農継続につなげるための肥料高騰と米価低迷への一体的な対策、ターンテーブルを活用した今後の取り組みについてなど、それぞれ質疑や提言がありました。

●県土整備委員会

県土整備部関係では吉野川上流の堤防整備の取り組み状況と今後の見通し、生活排水処理構想の見直しについて、企業局関係では企業局メガソーラーに対する出力制御について、危機管理環境部関係では徳島県避難所快適トイレ・実践マニュアル作成の経緯及び管理運営、脱炭素・カーボンニュートラルについてなど、それぞれ質疑や提言がありました。

●地方創生対策特別委員会

地域おこし協力隊の活動状況、道路の無電柱化、公共交通施策の取り組み、JR牟岐線への新駅設置の状況、移住者対策について質疑がありました。そのほか、ターンテーブルの取り組み、とくしまグルメプレミアムクーポン事業の概要、原油高騰対策、自然エネルギーの出力制限に係る知事会の取り組み、地方創生予算の精査などについて質疑や提言がありました。

●防災・感染症対策特別委員会

新型コロナに関し、ワクチンの誤接種及び4回目接種、後遺症の診療・相談体制、感染対策を踏まえた熱中症予防、県立高校総合寄宿舎の感染対策について質疑がありました。そのほか、危機管理型水位計、避難所に指定されている体育館のエアコン及びWi-Fi整備、災害時におけるペットの同行避難や停止エレベーターの対応について質疑や提言がありました。

●消費者・環境対策特別委員会

消費者問題に関し、成年年齢引き下げに伴うものやインターネット関連のトラブル、高校における消費者教育について質疑がありました。そのほか、ニホンザルの捕獲方法及び今後の対策、ボランティア団体等が回収した海岸漂着物の処理、脱炭素ロードマップにおけるグリーン水素の推進や省エネルギー対策、アスベスト対策などについて質疑や提言がありました。

●次世代育成・少子高齢化対策特別委員会

ひきこもり状態にある方の社会復帰などへの支援や子ども食堂の全県的展開への支援、運動部活動の地域移行について質疑がありました。そのほか、今回実施するヤングケアラー実態調査を踏まえた支援や児童虐待の現状と対応、学校における熱中症対策、少子化の要因、コロナ前後の合計特殊出生率、マリッサとくしまの取り組み実績について質疑や提言がありました。

用語解説

※1 【ローカル5G】

携帯電話事業者による一般向け5Gサービスとは別に、地域や産業の個別ニーズに応じて地域の企業や自治体等が、自らの建物内や敷地内でスポット的に柔軟に構築可能な5Gネットワーク。

※2 【医療DX】

遠隔医療やオンライン診療の実施など、医療分野でのデジタル技術の活用により、医療環境の向上や患者負担の軽減などの変革を行うこと。

※3 【ER】

Emergency Roomの略。救急救命室。救急患者を受け入れて治療する設備のある施設・部屋のこと。

※4 【タスクシフティング】

医師の業務の一部を他の医療関係職種へ委譲すること。世界保健機関が医療人材不足を部分的に解決する手段として提唱した。

※5 【フリースクール】

一般に、不登校の子どもに対し、学習活動、教育相談、体験活動などを行っている民間の施設のこと。

※6 【ジェンダー】

生物学的な性とは違い、男女の役割の違いによって、社会的・文化的に形成された性別

のこと。

※7 【フッ化物洗口】

むし歯予防のため、低濃度のフッ化ナトリウム水溶液で洗口すること。

※8 【ワンヘルス】

人・動物の健康と環境の健全性を一つのものと捉え、私たちの健康を巡る様々な課題を解決する取り組みのこと。

※9 【ストレスチェック】

うつなどのメンタルヘルス不調を未然防止するため、ストレスに関する質問票に記入し、集計・分析することで、自分のストレスがどのような状態にあるのかを調べる簡単な検査のこと。

常任委員会の県内視察の概要

総務委員会

県中央部（令和4年4月19日）
令和3年3月に新築・移転した徳島中央警察署において、管内概況、事業状況及び施設の整備状況について説明を受けた後、当該施設を調査しました。



未来コンビニ

県南部（令和4年5月23日）
那賀町木頭において、地域の交流の場となっている「未来コンビニ」を視察した後、地域活性化に取り組んでいる関係者と那賀町の地域活性化について意見交換を行いました。

経済委員会

県中央部（令和4年4月22日）
日本酪農協同株式会社徳島工場において、環境に配慮したプラスチック削減のためのストローレス化や施設見学を通じた食育の取り組みについて調査しました。



日本酪農協同株式会社徳島工場

県西部（令和4年5月13日）
ナカガワ・アド株式会社において、ホテルだけでなくコワーキングオフィスやカフェの要素を合わせ持つ地域交流拠点「D^{アド}」の運営等を通じた地域活性化の取り組みについて調査しました。

文教厚生委員会

県南部（令和4年4月20日）
阿南光高等学校新野キャンパスにおいて、高大連携の取り組みについて調査及び視察した後、発達障がい者総合支援ゾーンの連携について関係者と意見交換を行いました。



支援学校みまカフェ

県西部（令和4年5月26日）
池田支援学校美馬分校において、支援学校みまカフェの運営をはじめとした地域貢献活動の取り組みについて調査しました。

県土整備委員会

県中央部（令和4年4月26日）
令和3年11月にアミコビルに移転した徳島県消費者情報センターにおいて、当該施設の調査をした後、消費者トラブルに関する相談について意見交換を行いました。



徳島県消費者情報センター

県西部（令和4年5月26日）
美馬市における鳴門池田線共進～新町工区の道路整備事業及び曾江谷川の河川改修事業、東みよし町における吉野川の河川改修事業を調査しました。

議員連盟の活動

教育を考える議員連盟が、不登校の子どもへの理解と対応について、勉強会を開催しました。（4月27日）また、スクールの実践における成果と課題について、勉強会を開催しました。（6月14日）

パネル展（徳島県議会と大学との包括連携協定事業）

徳島県議会議事堂1階ホールにおいて、令和4年6月14日から7月29日まで、7月の藍推進月間にちなみ、四国大学の藍をテーマにした事業や学生プロジェクト活動報告などを紹介するパネルを展示しました。

議会見学のご案内

議事堂を見学してみませんか。学校の社会見学や地域での学習会などにもご活用ください。電話でお申し込みの上、見学申込書を提出してください。

申込方法等は
こちら



: 088-621-3010

議会見学に来られた方々

- 三加茂中学校（東みよし町）
- 鷲敷小学校（那賀町）
- 西麻植小学校（吉野川市）
- 昭和小学校（徳島市）
- 富岡小学校（阿南市）
- 平島小学校（阿南市）ほか

関西広域連合議会副議長の選出

大阪市で開催された6月臨時会において、正副議長の選挙が行われ、本県の岡本議員が副議長に選出されました。



県議会だより「録音版」「点字版」を発行しています

県議会では、目の不自由な方に、県議会の活動をより知っていただくため、「県議会だより」の録音版（カセット・CD）・点字版を発行しています。

ご希望の方は、次のところへご連絡ください。
連絡先 / 障がい者交流プラザ 視聴覚障がい者支援センター
: 088-631-1400

なお、県議会ホームページに、県議会だよりのPDF版に加え、音声版も掲載していますので、ご利用ください。

議会日程

日程は予定であり、変更する場合があります。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「本会議の傍聴」及び「委員会の視聴」の自粛をお願いする場合があります。

令和4年9月定例会の日程

- 9月9日 …… 常任委員会
- 9月12,13日 …… 特別委員会
- 9月14日 …… 本会議（開会）
- 9月21日 …… 本会議（代表・一般質問）
- 9月22日 …… 本会議（一般質問）
- 9月27～30日 …… 常任委員会
- 10月3,4日 …… 特別委員会
- 10月7日 …… 本会議（閉会）

議会クイズ



正解者の中から抽選で10名様に、「徳島県産あきさかり」(5kg)をプレゼントいたします。



今定例会で「徳島県南海トラフ巨大地震等に係る〇〇に強い社会づくり条例」の一部改正が可決されました。さて、〇〇とは次の3つのうちのどれでしょう。

- ① 震災
- ② 津波
- ③ 災害

- 応募方法：はがき、電子メール又はファクシミリでクイズの答え、住所、氏名、電話番号、「とくしま県議会だより」についての感想を記入の上、次の宛先までお送りください。
ご応募は、お一人につき1通までとさせていただきます。
- 応募先：〒770-8570（住所記入不要）
徳島県議会事務局 政策調査課
メールアドレス：tokushimakengikaidayori@pref.tokushima.jp
ファクシミリ：088-655-2530

応募フォームは
こちら



- 締切：令和4年9月30日（金）消印有効
（当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。）
お寄せいただいた個人情報は、プレゼントの送付とそれに係る業務のみに利用します。

ヒントは
紙面上に
あります！

徳島県産あきさかり(5kg)

稲穂を持つ「すだちくん」が目印！徳島県の奨励品種のお米で、ほどよい粘りとほのかな甘み特徴です。
おにぎりや炊き込みごはんにするとふっくらとしておいしくいただけます。



10名様に
プレゼント

【提供】全国農業協同組合連合会徳島県本部